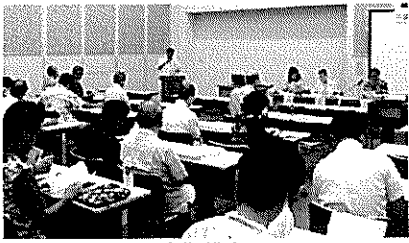


沖縄県健康産業協会会報

平成二十七年年度沖縄県健康産業協会 定期総会・特別講演会・懇親会

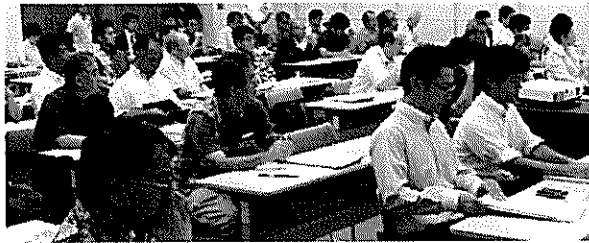
定期総会



定期総会

六月十二日(金)、沖縄産業支援センターに於いて、平成二十七年年度沖縄県健康産業協会定期総会が開催された。総会の冒頭、当協会会長大道教長より、「健康長寿や沖縄の美しい海・自然環境に対するイメージ先行型の商品から、最近では確かな機能性を持ち合わせた商品として科学的根拠に基づくデータを強みとした商品づくりが求められてくる。沖縄県では、品質と機能性に優れた沖縄ブランドの健康食品の更なる販路拡大を図ることを目的に事業を実施している。業界一体となって取り組んでいきたい」と述べた。つづいて、「沖縄機能性食品推進モデル事業」について(公財)沖縄県産業振興公社より事業概要等の説明をいただきその後、議案に移った。第一号議案「平成二十七年年度事業報告及び収支決算について」、第二号議案「平成二十七年年度事業計画及び収支予算について」を事務局より提案し、承認された。

特別講演会・懇親会



特別講演会



特別講演会講師
 牧野 順一氏

健康産業新聞を発行するUBMメディアア株式会社代表取締役の牧野順一氏より、健康産業界の現在の課題と今後の展望について講演があった。四月から食品表示法が施行され、それに伴ない機能性表示食品制度もスタートした。今後は消費者からの「これは良い」という体験談ではなく、エビデンスという客観的な視点で評価できる「ものさし」が必要になる。機能性表示食品は、これまでの薬事法では言えない部分についても、ピンポイントで機能を謳えることや、サプリメントに限らず、生鮮(農産物)や加工食品も対象となっているのがすばらしい所。市場の成長を押し上げる効果もあると考える。制度のスタートには、様々な背景がある。今後、健康ニーズは高まっており、フィットネスなど、利用者も増えている。昔のフットネスクラブはスタイル維持の為に利用されていたが、今では健康維持のための利用も増えている。少子高齢化に伴ない社会保障費の増加が見込まれ、年金・医療の支出を考えると死ぬまで元気でいられる健康寿命についても重要になっている。健康であることが、政府も個人も共通のテーマ。機能性が表示できる保健機能食品には、特定保健用食品、栄養機能食品、機能性表示食品があるので方策を検討すればよいのではないかと述べた。



懇親会

特別講演会終了後は、多くの会員と関係者が講師を囲んで交流を深めた。

「機能性表示食品」届出事業者に求められること

有限会社 開発屋でいきたん
 代表取締役 照屋 隆 司

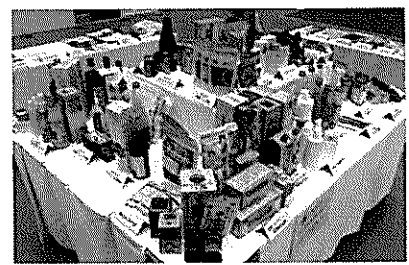
機能性表示の科学的根拠を説明することがFSSC 22000の届出書類作成の中心的な作業になりますが、そのための臨床試験(及び論文文化)やシステムレビューについては、ほとんどの中小企業が外部の専門機関に委託したり、機能性素材を提供する添加物メーカー等のサポートを受けることとなります。その一方で、外部委託ではなく届出事業者自身が考えて記載しなければならぬ部分もあり、GMP、HACCP、品質管理や消費者対応に関することです。機能性表示の届出書類には、届出製品の品質管理について記載する箇所があり、GMP、HACCP、FSSC 22000に関する品質管理は機能性表示制度において義務化されているわけではありませんが、錠剤・カプセル等、サプリメント

また、通常の品質管理に加え、届出製品の機能性成分の定量・定性分析をどのように行うのかを届出書類に記載する必要があります。届出書類に添付する成分分析結果としては指定登録機関による成績書が求められますが、発売後の製造管理、出荷管理等において自社分析や民間機関への分析委託で構いません。ただし、届出書類に発売後の分析の頻度や分析方法などを記載しなければなりません。

更に届出書類では、機能性表示食品発売後に健康被害を疑う消費者からの問合せ等があった場合の社内での対応について連絡体制図を添えた説明が求められています。

第三十九回沖縄の産業まつりで 会員企業の主力商品展示!!!

十月二十三日(金)より三日間の日程で第三十九回沖縄の産業まつりが那覇市の奥武山公園・沖縄県立武道館で開催された。沖縄機能性食品推進モデル事業では、沖縄県立武道館の中央ブースに出展し、沖縄の健康素材・健康食品の多様さをアピールした展示と事業紹介、機能性表示制度の紹介、バイヤー向けWEBカタログの紹介を行った。県産健康食品の紹介には、当協会の会員企業のうち、三十八社が主力



商品を表示した。また、出展ブース内でアンケート調査も実施し、沖縄の健康素材・健康食品に関する関心を調査した。来場者からは、沖縄の素材についての質問や、「購入できる店舗を教えてください」などの問い合わせがあった。展示品をご提供頂きました会員の皆様ありがとうございました。

沖縄の素材紹介 島桑

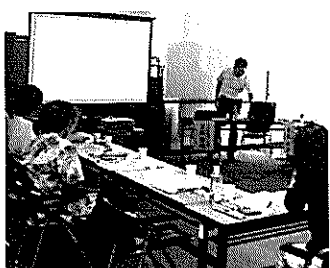
シマグワ 学名: Morus australis Poir.

島桑(シマグワ)は東アジア地域に分布する桑の一種です。国内では奄美諸島以南に自生しており、沖縄県内全域で多数の野生株を見ることが出来ます。国内では桑は専ら蚕の飼料として栽培されてきましたが、最近では葉を素材にしたお茶が製品化されるなど、食品としての利用も進められています。桑葉の特徴はカルシウム、カリウムなどのミネラルが豊富に含まれることですが、糖の吸収抑制作用があるなど、機能性成分が含まれていることも知られています。一方、桑の果実にはアントシアニンが多く含まれており、高い抗酸化機能を有することが明らかにされています。シマグワはこれまでほとんど利用されなかった地域資源と言えます。シマグワの新規用途が開発されつつあることから、今後新たな沖縄県の特産品として有効に活用されることが期待されます。



コスメ部会(コスメセミナー)開催

平成二十七年十月五日に改正され、「医薬品」を二日第一回コスメ部会、医療機器等の品質を確保する法律にコスメ部会長の大塚敦氏(株)ポイント(略称: 医薬品医療機器等法、薬機法)とが沖縄の県産素材をつたことや「化粧品」が沖縄の県産素材をどう活かせる効果効能活用したコスメの製造販売の現状や懸念事項について触れた。つづいて、沖縄県保健医療部業務疾病対策課業務班技師金城桂史氏より薬事法が、平成二十六年十一月二十



ら考える中小企業の知財活用」をテーマに土生(はぶ)特許事務所所弁理士土生哲也氏より講演いただいた。参加者から「今回の内容を是非社内でも共有したい」と大変好評であった。

沖縄健康・機能性食品バイヤーズカタログ

沖縄県産業振興公社では沖縄県からの地理的に離れた地域にいく形勢の、日々進化している機能性食品バイヤーズカタログが公開されました。県内の各企業が製品を次々と掲載して、本サイトは「沖縄の健康とビジネスの花を咲かせたい」という想いのもと、県内の健康食品業界の協力を得て完成致しました。



http://okbc.jp